



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 ニチモウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8091 URL <http://www.nichimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 和明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務部長兼財務部長 (氏名) 八下田 良知 TEL 03-3458-3530

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	102,634	9.5	2,306	44.0	2,327	69.8	1,697	167.3
30年3月期第3四半期	93,710	4.7	1,601	27.4	1,371	16.5	634	35.1

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,394百万円 (3.2%) 30年3月期第3四半期 1,351百万円 (41.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	498.48	484.32
30年3月期第3四半期	186.45	181.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	81,451	15,739	19.2
30年3月期	68,744	14,503	20.9

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 15,608百万円 30年3月期 14,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				50.00	50.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	127,000	7.1	2,300	67.4	1,800	59.7	2,000	587.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	3,787,400 株	30年3月期	3,787,400 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	383,107 株	30年3月期	382,947 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	3,404,397 株	30年3月期3Q	3,404,818 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか各種政策の効果などを背景に緩やかな回復基調が続いているものの、中国経済の減速や米中の貿易摩擦による海外経済の不確実性ならびに金融資本市場の不安定な変動が懸念されるなど、景気は依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましては、世界的な水産物需要の拡大による買付競争の激化や人手不足による生産や物流コストが上昇するなか、食の安心・安全の高まりから一部には価格よりも品質を重視した選別消費の動向が見られるものの、水産物の国内消費は減少傾向に推移するなど、引き続き厳しい環境下にありました。

こうした情勢のもとで、当社グループは、3ヵ年経営計画「第131期中期経営計画（100周年への飛躍）」の最終年度として、「浜から食卓まで」をカバーした当社グループならではの組織力を生かした積極的な営業活動に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,026億34百万円（前年同期比89億23百万円の増加）、営業利益は23億6百万円（前年同期比7億4百万円の増加）、経常利益は23億27百万円（前年同期比9億56百万円の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億97百万円（前年同期比10億62百万円の増加）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

①食品事業

食品事業におきましては、すり身部門では原料価格が上昇いたしました。南米産のすり身の取扱量が増加をし、売上、営業利益ともに増加いたしました。カニは通販向けへの販売が好調に推移し、原料価格は高騰いたしました。一方、北方凍魚や助子は原料コストや生産コストの転嫁が進まず、売上、営業利益ともに減少いたしました。

これらの結果、売上高は671億26百万円（前年同期比46億31百万円の増加）、セグメント利益は14億35百万円（前年同期比3億56百万円の増加）となりました。

②海洋事業

海洋事業におきましては、漁網・漁具部門では官庁向け漁具資材や海外まき網用漁具資材などが堅調に推移し、また、養殖部門では養殖魚向け配合飼料や養殖成魚などの販売が好調に推移したことで、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は146億99百万円（前年同期比11億63百万円の増加）、セグメント利益は5億50百万円（前年同期比23百万円の増加）となりました。

③機械事業

機械事業におきましては、国内外での豆腐生産設備の大型案件などの受注や、総菜業界や製麺業界向けの生産設備の受注増などにより、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は106億66百万円（前年同期比30億37百万円の増加）、セグメント利益は8億30百万円（前年同期比2億54百万円の増加）となりました。

④資材事業

資材事業におきましては、住宅用部材シートや印刷用フィルム、工業用粘着シートの販売が順調に推移し、売上、営業利益ともに増加いたしました。

これらの結果、売上高は84億7百万円（前年同期比4億10百万円の増加）、セグメント利益は2億80百万円（前年同期比55百万円の増加）となりました。

⑤バイオティックス事業

バイオティックス事業では、大手健康食品メーカー向け「アグリマックス」や「イムバランス」等の素材が堅調に推移いたしました。サプリメント関係の販売が伸び悩み、売上高は2億57百万円（前年同期比14百万円の増加）、セグメント利益は34百万円（前年同期比1百万円の減少）となりました。

⑥物流事業

物流事業では、九州地区における食品を中心とした運送業を展開しておりますが、深刻な人手不足による労働コスト上昇分等を吸収できずに、売上高は14億7百万円（前年同期比3億41百万円の減少）、セグメント損失は2百万円（前年同期は32百万円の損失）となりました。

⑦その他

その他の事業といたしまして、不動産の賃貸、人材派遣業などを行っており、売上高は69百万円（前年同期比6百万円の増加）、セグメント利益は45百万円（前年同期比6百万円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は814億51百万円（前連結会計年度比18.5%増）となりました。

総資産の増加は、主として現金及び預金及び売上債権並びにたな卸資産の増加によるものであります。

(総負債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債は657億12百万円（前連結会計年度比21.2%増）となりました。

総負債の増加は、主として仕入債務及び短期借入金並びに社債の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は157億39百万円（前連結会計年度比8.5%増）となりました。

純資産の増加は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月11日に公表いたしました、通期連結業績予想を修正いたしました。なお、当該業績予想の修正の詳細につきましては本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,264	9,113
受取手形及び売掛金	16,316	26,465
商品及び製品	20,947	21,539
仕掛品	561	372
原材料及び貯蔵品	3,662	3,961
前渡金	845	355
その他	898	781
貸倒引当金	△69	△90
流動資産合計	49,426	62,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,802	7,838
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,787	△5,882
建物及び構築物(純額)	2,015	1,955
機械装置及び運搬具	6,251	6,865
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,665	△4,932
機械装置及び運搬具(純額)	1,586	1,932
船舶	2,155	1,237
減価償却累計額	△899	△616
船舶(純額)	1,255	620
工具、器具及び備品	667	697
減価償却累計額及び減損損失累計額	△537	△568
工具、器具及び備品(純額)	130	128
土地	2,680	2,748
建設仮勘定	212	27
有形固定資産合計	7,880	7,413
無形固定資産		
のれん	197	164
その他	180	134
無形固定資産合計	377	298
投資その他の資産		
投資有価証券	10,059	10,191
長期貸付金	77	74
破産更生債権等	1,002	1,005
繰延税金資産	232	202
その他	696	733
貸倒引当金	△1,003	△1,006
投資損失引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	11,054	11,190
固定資産合計	19,313	18,902
繰延資産		
社債発行費	3	50
繰延資産合計	3	50
資産合計	68,744	81,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,511	17,787
短期借入金	22,069	28,330
1年内償還予定の社債	240	140
1年内返済予定の長期借入金	1,187	2,129
未払法人税等	239	618
賞与引当金	435	211
訴訟損失引当金	0	0
その他	2,620	3,289
流動負債合計	41,304	52,508
固定負債		
社債	180	2,160
長期借入金	9,994	8,402
長期未払金	53	18
繰延税金負債	1,121	1,023
役員退職慰労引当金	212	195
退職給付に係る負債	986	935
その他	389	468
固定負債合計	12,936	13,204
負債合計	54,240	65,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,411
資本剰余金	22	22
利益剰余金	11,449	12,976
自己株式	△1,084	△1,085
株主資本合計	14,798	16,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,602	2,377
繰延ヘッジ損益	△14	△3
為替換算調整勘定	△2,676	△2,825
退職給付に係る調整累計額	△324	△264
その他の包括利益累計額合計	△413	△715
新株予約権	118	130
非支配株主持分	0	0
純資産合計	14,503	15,739
負債純資産合計	68,744	81,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	93,710	102,634
売上原価	85,663	93,777
売上総利益	8,047	8,856
販売費及び一般管理費	6,446	6,550
営業利益	1,601	2,306
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	144	133
持分法による投資利益	256	422
その他	88	105
営業外収益合計	495	664
営業外費用		
支払利息	352	339
為替差損	288	164
その他	84	139
営業外費用合計	726	642
経常利益	1,371	2,327
特別利益		
固定資産売却益	4	—
補助金収入	—	15
特別利益合計	4	15
特別損失		
固定資産除却損	—	29
固定資産圧縮損	—	15
特別損失合計	—	44
税金等調整前四半期純利益	1,375	2,298
法人税、住民税及び事業税	701	590
法人税等調整額	39	11
法人税等合計	741	601
四半期純利益	634	1,697
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	634	1,697

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	634	1,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	439	△179
繰延ヘッジ損益	11	10
為替換算調整勘定	167	△148
退職給付に係る調整額	43	59
持分法適用会社に対する持分相当額	55	△44
その他の包括利益合計	716	△302
四半期包括利益	1,351	1,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,351	1,394
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	62,494	13,535	7,628	7,996	242	1,749	93,647	63	93,710
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	175	678	61	164	1	26	1,107	—	1,107
計	62,669	14,214	7,689	8,161	243	1,776	94,754	63	94,818
セグメント利益 又は損失(△)	1,079	527	576	224	36	△32	2,411	39	2,450

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,411
「その他」の区分の利益	39
全社費用(注)	△848
四半期連結損益計算書の営業利益	1,601

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マルキュー食品株式会社の全株式を取得し、連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じています。当該事象によるのれんの増加額は、「食品事業」セグメントにおいて219百万円です。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ ィックス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	67,126	14,699	10,666	8,407	257	1,407	102,564	69	102,634
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	163	1,016	36	166	—	30	1,412	—	1,412
計	67,289	15,716	10,702	8,573	257	1,438	103,976	69	104,046
セグメント利益 又は損失(△)	1,435	550	830	280	34	△2	3,128	45	3,174

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,128
「その他」の区分の利益	45
全社費用(注)	△867
四半期連結損益計算書の営業利益	2,306

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準28号平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社株式の売却)

当社は、平成31年1月25日開催の取締役会において、当社の連結子会社でありますサンアラワS.A.の株式をペスカマルホールディング社に譲渡することについて決議いたしました。

なお、本株式譲渡にともないサンアラワS.A.は当社の連結対象子会社から除外されることになります。

1. 株式売却の理由

当社は、平成25年にすり身の安定確保をはかる目的からサンアラワS.A.を連結子会社といたしましたが、その後の大幅なインフレとアルゼンチンペソの下落の継続等により同社は債務超過となり回復が困難な状況となりましたので、今般、同社株式をペスカマルホールディング社に譲渡することといたしました。

2. 売却する相手会社の名称

ペスカマル ホールディング AS (Pescamar Holding AS)

3. 売却の時期

平成31年2月28日(予定)

4. 当該子会社の名称、事業内容及び当社との取引

名 称： サンアラワS.A. (San Arawa S.A.)

事 業 内 容： 水産物および水産加工品の製造・販売

当社との取引内容： すり身ほか水産製品を購入しております

5. 売却する株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率

売却する株式の数： 17,480,691株(予定)

(上記株数は所有割合100%の株数であり、決議時点での所有割合は80%で13,984,553株となっており、株式譲渡契約締結日までに当社が全株式を取得した後に株式譲渡する予定であります。)

売 却 価 額： 未定

売 却 損 益： 未定

売却後の持分比率： 0%